

NPO 化学兵器被害者支援日中未来平和基金

大久野島スタディツアー

2024年9月13日(金)～9月14日(土) 1泊2日
大久野島国民休暇村 泊

いまは「ウサギの島」として有名な、広島瀬戸内海に浮かぶ大久野島。

ここに、中国に配備され遺棄され多くの市民が被害を受けた毒ガスを製造する工場があったことはご存じの方も多いかもかもしれません。戦前は軍事機密として地図から消されていました。今も大久野島には毒ガス工場の跡が多く残されています。

大久野島の毒ガス工場で働いた工員なども被害を受け、戦後も長らく苦しみました。被害回復の政策は未だに十分ではありません。

長年大久野島の毒ガス工場元行員と交流を持ち、現地の遺跡の案内を多くされている「毒ガス島歴史研究所」事務局長の山内正之さんに詳細な案内をいただきながら、一泊2日で島内を一周します。

旅程

<1日目>

11:50 忠海港集合（駅からは10分） 早いですが昼食を済ませておいてください。

12:00 フェリー発

12:15 大久野島着

12:40 宿舎ロビー集合

12:50～16:30

「大久野島一周大久野島毒ガスの歴史戦争遺跡のフィールドワーク」

毒ガス資料館や慰霊碑・戦争遺跡を山内さんに案内いただきながら、大久野島の毒ガスの歴史と現状と課題についてお話しいただきます。

16:30 チェックイン、いったん休憩（山内さんはここで帰られます）

18:00～夕食、参加者交流（最終入場19時）

<2日目>

7:00 朝食

8:30 チェックアウト, 荷物を預けて門の前集合

フィールドワーク出発 1日目に行けなかった場所を山内さんにご案内いただきます。

11:30 昼食 (山内さんのご案内はここで終了)

以後, 自由時間

当日参加者で相談して決めたいと思います。

14:40 フェリー発

14:56 フェリー忠海港着

(ここで解散)

応募締め切り:8月12日(月)

費用目安:15,000円(相部屋和室の宿泊費, 14日昼食, 往復のフェリー代を含んだ金額。忠海港までの交通費は除く。)

注意点:

東京からの交通の案内は別紙の通りです。忠海港までの交通は各自でご手配をお願いいたします。ただし, 広島空港から忠海港まで, 時間の合う方が多い場合タクシーに乗り合うことが可能ですので, 集約のため, 忠海港までの交通手段をお知らせください。

途中合流・途中退出も可能です。ただし, スムーズな合流, その後の予定の手配のため, なるべくあらかじめ事務局にお知らせください。

宿泊については, ほとんどが風呂なし相部屋の和室となります。風呂あり個室をご希望の方は, 可能でしたらご自身で宿泊をお取りください。風呂あり個室は数が少なくかつ人気なのでとても早く満室となるため, 予約が必要な場合は早めにお知らせください。

なお, 大久野島は離島であり休暇村の売店等で入手できない可能性もありますので, 必要なものはお持ちください。特に, まだまだ暑いと思われるので, フィールドワーク中の水分を確保ください。